

著者紹介

本田 恵子 (ほんだ けいこ)

早稲田大学教育学部教授

公認心理師・臨床心理士・学校心理士・特別教育支援士SV

アンガーマネージメント研究会代表

中学・高校の教師を経験したあと、カウンセリングの必要性を感じて渡米。特別支援教育、危機介入法などを学び、カウンセリング心理学博士号取得。

帰国後は、スクールカウンセラー、玉川大学人間学科助教授等を経て現職。学校、家庭、地域と連携しながら、児童・生徒を包括的に支援する包括的スクールカウンセリングを広めている。

2000年代になってからは、矯正教育の専門家を対象としたアンガーマネージメント研修の講師なども務め、学校やカウンセリングの現場、特別支援教育や療育に欠かせない、子どものためのソーシャルスキル・トレーニングの教材開発にも取り組んでいる。

主な著書に、『キレイやすい子の理解と対応——学校でのアンガーマネージメント・プログラム』（ほんの森出版、2002年）、『脳科学を活かした授業をつくる——子どもが生き生きと学ぶために』（みくに出版、2006年）、『キレイやすい子へのソーシャルスキル教育——教室でできるワーク集と実践例』（ほんの森出版、2007年）、『キレイやすい子へのアンガーマネージメント——段階を追った個別指導のためのワークとタイプ別事例集』（ほんの森出版、2010年）、『いまじんどうなる？ どうする？』（監修、梧桐書院、2013年）、『いまじん2 わくわくたんけん』（作、梧桐書院、2014年）、『インクルーシブ教育で個性を育てる 脳科学を活かした授業改善のポイントと実践例』（梧桐書院、2014年）、『改訂版 包括的スクールカウンセリングの理論と実践——子どもの課題の見立て方とチーム連携のあり方』（編、金子書房、2019年）がある。

「アンガーマネージメント研究会」連絡先 <http://anger-management.jp>